

愛寿会 たより

一月四日新年互礼会

園長・局長・副園長のひとこと

2 月号
第 128 号
平成 22 年
2 月 1 日発行

小事を疎かにする者は
必ず大事が疎かになる



仁生園 園長 小池光夫

毎日のように小澤理事長からこの言葉と同時に、この言葉の意味を徹底的に教え込まれていきます。小事とは、日頃の「身だしなみ、言葉づかい、礼儀作法」など日常的な些細なことが非常に大切なことであるということです。この心得を常に大事にし、利用者、御家族の皆様から一段と愛され、信頼される施設づくりに努めて参ります。

利用者の安全・安心への努力を

第二仁生園 園長 根津英雄

平成二十一度は、国・県からスプリンクラーの補助、日本財団から福祉車両の補助をいただきました。平成二十二年度には(財)JK A から作業棟を新築するための助成をいただく



予定です。そのような援助を得ながら更なる施設整備に努め、安心安全、かつ快適な第二仁生園づくりに全力投球して参ります。

全職員が家族のようでありたい

法人事務局長 小尾章臣



理事長がよくいう言葉に「みんな家族のように」というのがあります。愛寿会の職員は約一二〇名。女性八〇%、男性二〇%の職場です。年齢も十代から七十代まで。職種も多種多様です。「和を以って貴しと為す」です。理事長の意を体し職務に精励することが利用者のご満足につながる鍵と考え、「家族のようであるよう」努めて参りたいと思います。

本当に困っている方に援助の手を

仁生園 副園長 浅川まゆみ



特養の待機者が三百有余名となっています。昨年愛寿会日より第一二〇号で優先入所制度の活用についてご案内しました。でも、国・県の基準はなかなか厳しくご希望に沿えないケースが幾つかありました。今年は、より弾力的に、本当に困っている方に援助の手を差し伸べることができるよう検討して参ります。

職員一層の資質向上を目指します

仁生園 副園長 植松喜代美



職員一層の資質向上と、新入職員の介護研修の場として、十の研究委員会に全職員が所属し、一年間頑張ってきました。その結果が、処遇面はかなり役立っていると思います。昨年研究結果を愛寿会として初めて「研究委員会集録」としてまとめました。今年度も第二号を発行するよう早速準備に入ります。

利用者と共に在る介護を：

仁生園 副園長 小林町子



介護相談センター、デイサービスセンターなどの業務を担当しています。

特に、相談センターについて坂本七百重ケアマネージャーと相談しながら「介護なんでも相談所」として地域の皆様から一層お気軽に相談していただけるよう機能強化に努めて参ります。

より家庭的な雰囲気づくりに：

第二仁生園副園長 白倉直子



施設も三年目に入り、利用者や職員が相互に理解し合うことができるようになり、家庭のような雰囲気です。毎日を楽しく暮らしています。年々重度化して介護の仕事も大変ですが、やりがいを持って全職員力を合わせ、今後も自立支援の充実を図り、個々の要望に沿ったサービスができるよう努めて参ります。

料金後納郵便

用子小包

差出人(差出発送代行)

7-4 佐川物流サービス(株)

返送先: 〒140-0012

品川区勝島 1-1-1

このお荷物はお預かりした荷物
発着社が差出人になって発送代行を行います。

一月四日新年互礼会 理事長訓示

敬愛の念を前提の介護を目指そう 「七つの誓い」と「より謙虚に」の実践

理事長 小澤澄夫

増える一方の入所待機者と重度化

山梨県で最初の民立特別養護老人ホーム「愛寿会仁生園」がスタートしたのが昭和四十八年五月でしたから、今年が創立三十七年目ということになります。

ご承知のとおり我が国の高齢者数は年を追って増えています。仁生園の場合も入所待機者数三百有余人。また、入所されている方、待機されている方、それぞれの要介護の状況は日増しに重度化しています。

心身に重い障害をお持ちの方々のために平成十九年夏第二仁生園を設置しました。第二における待機・重度化傾向も同じです。

そのような中、如何にすれば利用者の皆様に、よりご満足いただけるか、職員一同心を砕いています。今後ともその努力を続けていかなければならない…そのように考えています。

旧年十二月二十八日の日本経済新聞のコラム「春秋」の記事から感ずることがありました

それは、天皇陛下の即位二十年記念の記者会見における皇后陛下のご発言から記事にまとめたものです。

その一部を原文のままご紹介します。

▼ことし、耳にして同じ思いにとらわれた言葉があった。天皇陛下即位二十年に際した記者会見の、皇后陛下の発言である。

「高齢化が常に『問題』としてのみ取り扱われることは少し残念に思います」。そして、

「90歳、100歳と生きていらした方々を皆して寿(ことほ)ぐ気持ちも失いたくないと思います」と続けられた。

▼高齢者が社会にかける負担ばかりが話題になるけれど、振り返ってみれば還暦や古希を祝う伝統があったではないか。日本は長寿社会の実現を目指していたはずではないか。一面しか見ない風潮に対する痛切なお気持ちの表現だったと受け止めて間違いあるまい。伝わってくる思いには、自省を促す力があつた。

コラムの前後を略しているのやや不明瞭の点もあるうかと思いますが、皇后陛下のご発言のご趣旨、またこれを受けて「自省を促す力があつた…」とするコラム氏のお考えはよくわかります。

心しなければならぬことと痛感します。

介護の仕事は限りなくむずかしい仕事…

ご高齢の皆様を敬愛すべきは当然です。特に、現在の日本の社会、経済、安全等々は、

第二仁生園の安全性が高まります

三月中にスプリングラ設備を設置

昨年十二月九日の評議員会・理事会で、第二仁生園へのスプリングラ設備設置費が認められました。

そこで、一月五日同園で一般競争入札を実施、十社で争った結果、甲府市の早野組が消費税込み二千八百八十四万円で落札しました。

三月三十一日までには完成することになっています。

(写真は、理事・監事さん参席のうえで行われた一般競争入札)



只今七十歳から百歳を数える皆様の積年の汗と努力、艱難辛苦によつて築かれてきたものです。その皆様のうち多くが今日介護を要する状況にあるのです。

ところで、介護の仕事は限りなくむずかしい仕事です。技術的なことも容易ではありませんが、高齢者の皆様が何を考えになつていくか、何を求めておられるか：それを先ず考え、それに添って行動していかねければならないからです。何を行なうにも利用者の皆様の心情を考え考えしなければならぬのです。二年、三年、五年、十年といった長期にわたる入所生活から来る複雑多様な心の働きにも適切に対応していく必要があります。

ご存知のとおり、愛寿会には七つの誓いがあります。

「はい・すみません・ありがとう・おかげさま・どうしました・そうですね・させてください」です。この実践こそ高齢者の皆様への敬愛に通ずるものです。

愛寿会職員は草創時の精神に立脚ひたすら奉仕の道を歩み続けなければならない

先人が、山梨県で最初に種を播いた民立の施設です。創設に関わった方々の思いは「愛寿会の施設で暮らせてしあわせです」と、利用者の皆様から心底言っていただけのような運営にあつた筈です。私達は心を一つにしてその志を継いでいかなければならないと考えます。

より謙虚に：

今年、七つの誓い、或いは、小事を大切にすること等を踏まえながら、もう一つ、「より謙虚に」ということを守っていききたいと思ひます。そうして職員のみんが品格を高めること：そのことが、前述の皇后陛下のご発言のご趣旨、日経のコラム氏のお考えに添うものであることを認識する必要があります。

理事長と共に在る職員で在っていただきたい

中国に、「推車同舟」という古言があります。「同じ船に乗っている子どもが湖面に転落したとき黙って見ている者はいない。これを助けるために競って水に飛び込むに違いない。何人かを乗せた馬車が険路で倒れんばかりのとき、黙って乗っている人はいない。我先に飛び降りて車を押す筈だ。こうした心の働きは老若、貴賤、貧富を問わないものだ。人間は悉く斯く在りたい。：地域でも仕事の間でもそうでなければならぬ」という喩です。「みんなが家族のように：」「みんなが苦楽を分つ：」そうした愛寿会職員でありたいと願っています。

縁あつて理事長の職を担っている私です。平成二十二年も身を粉に努めて参ります。職員全員が私と行を共にするよう願って止みません。

第二仁生園

一月五日、北杜市高根町にある建部（たけべ）神社に初詣に行ってきました。神主（かんぬし）の石原様から有益なお話をいただいたうえ、甘酒を頂戴し体中（からだじゅう）ポカポカでした。おみくじも引かせてもらいました。

また、十三日には園内で餅つきをしました。今年、もち米の他に、うるち米に長いも



を入れて炊いた米をつき、のどにかえないよう考えました。つきたての餅はあん・きなこ・大根おろしでからめ美味しくいただきました。



祝 百歳

一月八日(金)、田中ともよ様の百歳のお祝いが催されました。

北杜市の白倉政司市長様が、市からの記念品や花束を持参お祝いに駆けつけて下さいました。



まゆ玉作り

一月十五日(金)、毎年恒例の「まゆ玉作り」を行いました。昔の思い出を語り合いながら、赤、白、緑と色とりどりのまゆ玉が手際よく出来上がりました。

小梨(こなし)の木にさされたまゆ玉を部屋に飾り、みな様で一年の無病息災をお祈りしました。



2月行事予定表

Table with 4 columns: 日付, 曜日, 仁生園, 第二仁生園. It lists activities for each day of the month, such as 'フロアの日', '絵手紙', '節分', etc.

感謝

愛寿会・仁生園・第二仁生園への協力ありがとうございます

いつも、愛寿会・仁生園・第二仁生園のためにご協力いただき心から感謝申し上げます。今後とも利用者皆様に、よりご満足いただける施設運営を目指し役職員一体となって誠心誠意努めて参ります。

なにとぞ倍旧のご支援のほどを、また、ご叱正を賜われますようお願い申し上げます。略儀ながらお礼状に代えさせていただきます。(敬称略五十音順)

金員・物品のご寄付

- List of donors and their contributions: 北杜市長坂町, 西和田愛宕山道祖神組合, 北杜市長坂町, 小澤善六, etc.

ボランティア活動

愛寿会後援会へのご協力ありがとうございます

- List of volunteer groups and supporters: 北杜市大泉町, 北杜市高根町, 北杜市高根町, 北杜市高根町, etc.

※リハビリは毎日行っています。